

2020年7月9日(木)

老球の細道551号

偉大なチームの「ゴールド・スタンダード」

会津バスケットボール協会 室井 富仁

コロナ禍はまだまだ収束しないけれど、多くのチームは練習を再開した。新入生も加わり、新鮮な気持ちで練習に没頭していることだろう。そんな中で、私にもようやくクリニックの依頼が舞い込むようになり、今まで2チームを指導させていただいた。

久しぶりのクリニックなので、私自身のモチベーションアップを図るために、まずは形からチェンジした。今まで身に着けなかったナイキのシューズで足元を決めたのである。ところが、履きなれていないせいか、クリニックのデモンストレーションにおいて、空中で左右の足を交差させる「シザース・シャム・ゴッド」というドリブルフェイクをしたら、足がからまり転倒してしまった。柔道の受け身で難を逃れたが、慣れない靴で慣れないことはやるものではないと、亡くなった親の遺訓を改めて思い出した。

今回指導した2チームともに強豪と言われるだけあって、ウォーミングアップとして行った遊び系の練習にも本気になって取り組んでいた。あちこちでクリニックをすると、最初の遊び系のドリルで夢中になれないチームは、残念ながらその後の練習においても集中できないのが常である。強いチーム、強い選手は遊びも本気で取り組む。「練習は試合のように、試合は練習のように、遊びも試合のように」。「ゴールド・スタンダード」は明確である。

ところで、コロナ禍で暇している時に、昔の資料を漁っていたら、「USA National Team Gold Standards」なるものが見つかった。チームの参考になれば幸いである。

- 1・NO EXCUSES・・・勝つためにすべきことをするのみ。
- 2・GREAT DEFENSE・・・金メダルを獲得するためのカギ。
- 3・COMMUNICATION・・・アイ・コンタクトして真実を話す。
- 4・TRUST・・・お互いを信頼しあう。
- 5・COLLECTIVE RESPONSIBILITY・・・お互いに分担し合い、ウイン、ウインに。
- 6・CARE・・・お互いに注意しあい、アドバイスを与える。
- 7・RESPECT・・・チームメート、相手チームに、いつでも、どこでも敬意をはらう。
- 8・INTELLIGENCE・・・良いシュートを打つために、状況判断をする。
- 9・POISE・・・絶対に弱みを見せない
- 10・FLEXIBILITY・・・色々なシチュエーションに適応する。不平を言わない。
- 11・UNSELFISHNESS・・・皆が協力しなければならぬ。プレイングタイム関係なし。
- 12・AGGRESSIVENESS・・・すべてにおいてプレイ・ハード。
- 13・ENTHUSIASM・・・何ごとにも楽しむ、燃える。遊びも。
- 14・PERFORMANCE・・・ハングリー精神を持つ。悪い練習をしている暇はない。
- 15・PRIDE・・・我々は世界 NO1 のチームであり、最高の国を代表している。